

急がれる未配置解消 過重負担が常態化!

「産休に入っても代替が来ない」「病休になったクラスを担当する人がいない」といった極めて異常な事例が職場に起きています。そして問題なのはこの状態が常態化していることです。市教組の調査からその深刻な実態が見えてきました。

4月病休代替で来た英語の教員が来なくなり、数週間未配置。その後5月新任(社会科)の教員が6月から病休一カ月ほど未配置。夏休み前にやとと来る。その後新任は退職。6月病休明けで来た英語の教員が9月又病休に入る。未配置数週間。2学期途中、理科教員(担任)が病休一カ月ほど未配置。昨年は病休がのべ4名。未配置の間その他の教員で何とかしていた。(岸中)	病休者がでて、家庭科担当者+SAでクラス担当した。学期末事務は教務というところでクラスの仕事を分担した。(大門小)	新年度4月、10月には産前休に入るとわかっていったのに2学期の初めに代替の人のめどがたたず。(大宮東小)
* * 6/1~3カ月理科専科病休。配置されず、担任が理科の授業を行った。	* * 2学期から2人産休。そのうち一人は代替が来た。もう一人は来ないため算数少人数教員が担任に。教務が補助で入り国語と算数を担当。(中尾小)	* * 8月より女性教諭がヘルニアで自宅療養可で休んでいて、市教委に言っているが、9月は担任外で担任代行して未だ来ない。(大成小)
* * 育児時短を取った人がいない。(昨年妊娠者2人。2人とも体育代替はきませんでした!)	* * 3人が産休。1人は臨探だったので退職扱い。のこりの2人はアシスタントの人と、短時間勤務の人が担任に繰り上がる。アシスタントの人と短時間勤務の人が引き続き学年末まで担任をした。(三橋小)	* * 1カ月半の病休の間、代替不在のため、少人数担当が代わってそのクラスを担当する。(指扇小)
(天牧小)	(三橋小)	(田島中)

1カ月程度代替が決まらず、同じ教科の職員が授業のカバーをした。(尾間木中)

病休に入ってしまった方が多かったが、代替が来ないため、校内でやりくり。必然的に持ち時数が増えたり、ITが組めなくなったり、たらい回しのように様々な学年の担任を受け持たされたりする人が出たり...。新たな病休が増えそうです。(宮前小)

家庭科専科が1学期末で退職。代替が決まらず、担任が授業を行う。そのため2学期に入り時間割を大幅に変更した。特別支援学級の特配も未配置のまま。(美園小)

新学期前に急遽退職した方がいてその人の分は5月になりました。(内谷中)

次号に引き続き実態報告します

教研活動は教職員の活動の源

さいたま市教育研究会を開催

10月14日(土)さいたま市教育研究会実行委員会主催による「第16回さいたま市教育研究会」が与野本町コミュニケーションセンターで開催されました。



さいたま市の教職員をはじめ、民主団体を、市民と大勢に開かれた教育研究会で、用意された分科会には40名近くの参加者を得て、大盛況に行われました。

子どもたちのための道徳教育をどうすすめるか

さいたま市における道徳教科書採択について
方賀和夫さん さいたま市教育委員会 主任委員
「子どもに寄り添った道徳を」
渡辺雅之さん さいたま市教育委員会 主任委員

8月10日、さいたま市教育委員会は、来年度から市内の小中学校で使用する道徳教科書に、教科出版の教科書を採択しました。学校の先生や選定委員会の推薦を無視した決定です。
同教科書は、安倍晋三首相の発言を文脈と関係なく掲載していることや、他社に比べて「愛国主義的、傾向が強い」など、問題のある教科書として、全国で「採択反対」の声があがった教科書で、採択が進行された那覇市などでは「採択撤回」の動きも起こっています。
道徳教科書を押し進める政府は、「教育勅諭」の教材使用を認める」とする閣議決定を行うなど、道徳教育を強めてはきまじまな危険な動きも見られます。
道徳教科書化の問題点や子どもたちに寄り添った道徳教育のあり方について、一緒に考えてみませんか。

2017年11月18日(土)
午後1時30分~3時半(予定)
さいたま市民会館うらわ
4階集会所 *資料代:500円(資料別冊)
さいたま市教育委員会
道徳教育推進委員会さいたま支部
〒330-0811 さいたま市大宮区大宮5-1-1
ようせいビル10F さいたま市市民会館
連絡先 ☎048-641-6763(さいたま市教育委員会)

